
◆ 目次 ◆

- 1 齊藤純在モンリオール日本国総領事挨拶
 - 2 4 月及び 5 月の休館日
 - 3 領事窓口時間等について
 - 4 領事だより
 - (1) 日本の水際措置の終了予定について（5 月 8 日）
 - (2) 改正旅券法令の施行に伴う旅券手続きの変更点概要（3 月 27 日から）
 - (3) 令和 5（2023）年度の領事手数料
 - (4) 子どもクラブからのお知らせ
 - 5 広報・文化だより
 - 6 当館管轄 5 州の政治
 - 7 当館管轄 5 州の経済
- * * * * *

1 齊藤純在モンリオール日本国総領事挨拶

皆さまこんにちは。

ケベック州ではこのところ気候の変化が激しく、体調を崩されている方もいらっしゃるのではないのでしょうか……。私は一瞬だけ「夏」だったモンリオールからまだほぼ冬のハリファックスに出張し、海風にさらされながら市内のアポ先を歩き回ったせいか少々風邪気味になってしまいました。とにかく休養を取ることだ！と思って帰任後は連日しっかり睡眠を取ったところほぼ回復して、また日々の仕事にいそしんでいます。

公邸周辺ではあの雨氷の日から二週間経った昨日、ようやく道端に集められていた倒木や枝の回収が行われました。公邸正面の敷地内にある木の大きめの枝が折れてぶら下がっていて、玄関から入られるお客様の身の上を案じていたのですが、そちらは比較的早く処理されました。公邸所在地では、規則により敷地内といえども一定の木の剪定等は市の業務のようで、いつ来てくれるのか……。と心配していたので安堵しました。それもこれも、大規模な停電の被害に遭われた方々のご苦勞に比べればなんでもないことで、酷寒の数日間を様々な不便を乗り越えてサバイブされた皆さまにお見舞い申し上げるとともに敬意を表します。

先月下旬に恒例の天皇誕生日祝賀レセプションを開催しました。昨年はコロナ禍が収まりつつある矢先で、我々主催者も招待客もおっかなびっくりといった感じがあった

のですが（写真を見ると皆マスクをしています！）、今年は正々堂々といった風で、多数のお客さまをお迎えして盛大なものとなりました。その分我々総領事館員や協力していただいた関係者の準備も大変だったのですが、主催者代表である私も、当日の天気は大丈夫か、返信どおりお客さまが集まってくれるだろうか、お出しする料理が足りなかったりたくさん余ったりしたらどうしよう…などと、際限のない心配に囚われて、残念ながら痩せるまでには至りませんでした。少し睡眠不足でした。

年間を通じて最大かつ最重要な行事を滞りなく終えて、桜咲く日本に一時帰国しました。

ご案内のように今年は例年になく開花が早く、もう葉桜だったら残念だなあと思いながらのフライトでしたが、さすがは桜の本家本元、ソメイヨシノは盛りを過ぎていましたが枝垂桜や八重桜が華やかに迎えてくれました。それにしても連日桜の話題で持ちきりで、外から戻ってみると日本は桜の国なんだなあと改めて感じました。訪日観光客の戻り具合も目を見張るばかりで、京都の駅前やカナダに戻る際の成田空港など、一体ここはどこ国だ・・・と思わせる状況でした。

ハリファックスと姉妹都市の函館（昨年 40 周年を迎えました）、日本の先住民たるアイヌの研究機関がある札幌、「命のビザ」などを手にしたユダヤ人を温かく迎えた歴史を持つ敦賀などを訪れ、今後に向けて種をまいたりお世話になった方々と再会を果たすなどして、仕事と休暇を兼ねた充実した滞在になりました。

その後のモンリオールでは、すっかり春めいていた日本をはるかに上回る気温の日が数日続き、すわ衣替えか！と浮足立って、少しウキウキしながらはやばやとコートに入れ替えなどをしてみたのですが、結局厚手のものをまた引っ張り出しています・・・。昨年は日本のGWの頃に雪が少し積もったのを思い出し、落ち着け落ち着けと言いつつ聞かせています。

以前ニューヨークに駐在していた時に Come From Away というミュージカルを観ました。2001 年の同時多発テロの際、多くの旅客機と乗客を受け入れた NL 州 Gander を舞台にした秀逸な作品なのですが、最近モンリオールに巡回してきていました。意味は取れるものの不思議なタイトルだなあはずっと思っていたのですが、大西洋州では外国人のことを CFA と呼んできた歴史があると最近知り、得心しました（諸説あるようですが、そういう説明もあるということです）。言葉は文化や生活をしっかり反映していますね。

在留邦人の方々から、このつたない文章を「楽しく読んでいます」との温かい言葉をいただくことがあり励みになります。日本語が読めるケベコワの読者もいて、前号の挨拶に関して新たな四字熟語を学んだと感謝の意が表されました。とりとめもない話の羅列ですが、引き続き総領事の仕事や生活の様子、考えていることなどをご紹介します。

ていきたいと考えています。

2 4月及び5月の休館日

- 5月5日（金） こどもの日
- 5月22日（月） National Patriots' Day
- 毎週土日

3 領事窓口時間等について

(1) 当館の開館時間

以下の URL をクリックするとご確認いただけます。手続きの内容によって時間が異なりますので、ご注意ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/office.html#section3

(2) 一部の取り扱いにおける予約制

(i) 対象となる取り扱い

- ・在留証明の申請
- ・署名証明の申請
- ・警察証明の申請
- ・戸籍国籍関係の届出

(ii) 予約方法

当館領事班に、Eメールまたは電話でご連絡をお願いします。

【Eメールアドレス】 consul@mt.mofa.go.jp

【電話番号】 514-866-3429

4 領事だより

(1) 日本の水際措置の終了予定について（5月8日）

・5月8日に予定されている新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴い、新型コロナウイルス感染症に係る水際措置（臨時的な措置を含む）は終了する予定です。したがって、日本時間の同日0時以降に日本に入国する場合、「出国72時間以内に受けた検査の陰性証明書」、「ワクチン接種証明書（3回）」のいずれも提示不要となります。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2023C019.html

- ・なお5月7日終日までは、引き続き、「出国72時間以内に受けた検査の陰性証明

書」または「ワクチン接種証明書（3回）」が必要です。日本入国時の検疫手続きを一部事前登録し、ファストトラックをご利用ください。税関申告も可能です。

詳しくはVisit Japan WebのWebサイトをご覧ください。

<https://vjw-lp.digital.go.jp/>

新型コロナウイルス感染症の日本の水際対策は、当館ホームページで随時更新してご案内しています。

【当館ホームページ】

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/coronavirus_jp.html

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

(2) 改正旅券法令の施行に伴う旅券手続きの変更点概要（3月27日から）

●オンライン申請の開始

(i) 2023年3月27日から、旅券の発給申請手続きがオンライン化されています。

(ii) オンライン申請の場合、

・戸籍謄本提出の省略が認められる切替申請は、申請時に在外公館の窓口へ出向く必要がありません（旅券の受け取りは、これまで通り窓口での対応となります。受け取る際は、必ず前回の旅券をお持ちください）。

・新規申請の場合や、現在お持ちの旅券面の記載事項を変更する場合は、戸籍謄本の提出が必要になります。窓口での提出、または、書留郵便やそれに準ずるものであれば郵送で提出することもできます。

(iii) 日本国外居住者の皆様は、オンライン在留届（ORR ネット）で在留届を提出した上で、在留邦人用旅券申請スマホアプリを通じてオンライン申請が可能となります。

(iv) オンライン申請は、アプリの画面上の案内にしたがって実施していただくこととなります。

(v) 紙で申請されるか、オンラインで申請されるかは、申請者の皆様にお選びいただけます。したがってこれまでどおり、紙の旅券申請書に必要事項を記入し、当館窓口に来館してご申請になる方法も引き続き可能です。

【外務省ウェブサイト】

https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/page22_004039.html

●申請手続きの変更【今一度確認ください！】

(i) 戸籍謄本について

新しく旅券を申請する場合や、旅券面の記載事項に変更がある場合は、戸籍抄本では

なく、戸籍謄本をご用意ください。3月27日以降、戸籍抄本での申請はできなくなりました。

(ii) 査証欄（ビザページ）が残り少なくなった場合

旅券の査証欄を追加する増補制度が廃止されました。旅券の査証欄が残り少なくなりましたら、新しい旅券を申請してください。

(iii) 新しい旅券の速やかな受け取りについて

新しい旅券が発行され、6か月以内に受け取られない場合、新しい旅券は失効します。失効後5年以内に次の旅券を申請する際は、手数料の額が通常よりも高くなります

(※2023年3月27日以降に申請された旅券が6か月以内に受け取られずに失効した場合に適用されます)。

(iv) 申請書の様式変更について

オンライン申請ではなく、紙の申請書を使い窓口で申請される場合、2023年3月27日から、旅券発給等のための申請書の様式が変更されています。同日以降の申請では、古い様式の申請書では受付できません。ご自宅で印刷可能な新様式のダウンロード申請書は以下のウェブサイトからご利用いただけます。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

(3) 令和5（2023）年度の領事手数料

日本国財務大臣が定める外国貨幣換算率の改定に伴い、2023年4月1日付けで領事手数料が改定されました。2023年4月1日から2024年3月31日までになされた申請は、新しい領事手数料の額が適用されます。新しい領事手数料の一覧表は下記のURLをクリックするとご覧になれます。

<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/fees.html>

(4) 子どもクラブからのお知らせ

子どもクラブは日系の親子が日本語で交流できるドロップインのプレイグループで、各自お弁当持参で集まっています。子供の年齢が近い親同士の出会いの場でもありません。プレママさんもパパさんも、お気軽にご参加ください！

開催日：毎月第2・第4金曜日 ※天候や祝祭日の関係で変更になる場合があります。

時間：11時～15時（時間内であれば何時からでも参加可）

場所：モントリオール日系文化会館

参加費：1ドル

ご興味のある方は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

info.mtlkodomoclub@gmail.com

5 広報・文化だより

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（culture@mt.mofa.go.jp）

までお知らせください。毎月 10 日までに原稿をいただければ同月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

(1) 当館は、以下の SNS 公式アカウントを開設しています。日本や当館の活動に関する情報を随時発信しています。

●フェイスブック

<https://www.facebook.com/JapanConsMontreal>

●ツイッター

<https://twitter.com/JaponMontreal>

●YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC5Fc52skP5w8otfowcN30ag>

(2) 文化庁主催第 8 回 JLPP 翻訳コンクール

日本書籍翻訳・普及事業の一環として、日本の現代文学作品の優れた翻訳家を発掘・育成することを目的に第 8 回 JLPP 翻訳コンクールが開催されます。

<https://www.jlpp.go.jp/competition8/index.html>

(3) 日本関連行事等のお知らせ

* 以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問合わせください。

* 外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

●「Broken Promises」(ハリファックス市)

カナダにおける日系移民の歴史に関する展示です。

期間：4 月 23 日(日)まで

場所：Canadian Museum of Immigration at Pier 21

1055 Marginal Road, Halifax NS

<https://pier21.ca/broken-promises>

●0 Japanese Tea 主催：Let's eat tea!

日時：4 月 22 日(日) 10 時 30 分～11 時 30 分、13 時～14 時

場所：Kitano Shokudo

143 Avenue du Mont-Royal Est Montreal

<https://allevents.in/montr%C3%A9al/mangeons-le-th%C3%A9-lets-eat-tea/10000579133492867>

●The Mini Violini 2023

第 21 回モントリオール国際音楽コンクール (Concours musical de international de Montreal) の一環で、「The Mini Violini 2023」が開催されます。国際コンクールで受

賞経験のある 10 歳～15 歳のバイオリニスト達のコンサートで、日本からは 11 歳の HIMARI さんが演奏します。

日時：4 月 22 日（土）・23 日（日）午後 2 時

場所：Bourgie Hall, Montreal Museum of Fine Arts

1339 Rue Sherbrooke O, Montreal

<https://concoursmontreal.ca/en/violin-2023/mini-violini-2023/>

●いけばなインターナショナル 4 月例会

Diane Eggleton 氏による草月流デモンストレーションが行われます。

日時：4 月 28 日（金）13 時

場所：Centre Communautaire Monkland

4410 ave. West Hill, Montreal

電話：514-872-8588

参加費：20 ドル

連絡先：田中和子氏（kazuko.dorangeville@gmail.com）

●Everyone Can Kimono

着物ファッションショーとバザーが開催されます。

日時：4 月 29 日（土）ショー：13 時 30 分頃 バザー：14 時 30 分頃

場所：モントリオール日系文化会館

8155 rue Rousselot, Montreal

<https://www.jcccm-cccjm.ca/wp-content/uploads/2021/04/Kimono-event-2023-poster.jpg>

●Festival Acces Asie

アジア月間である 5 月に Festival Acces Asie が開催されます。期間中、以下を含む様々な日本関連イベントが行われます。

日時：5 月 4 日（木）～28 日（日）

https://acesiasie.com/programmation/?_annee=2023

（ア）コンサート「Bird Sanctuary」

モントリオール在住のピアニスト八坂公洋氏を含む芸術家によって構成されるコンサートです。

日時：5 月 7 日（日）19 時 30 分頃

場所：Edifice Wilder

1435 Rue de Bleury, Montreal

<https://levivier.ca/fr/concert/saison-2022-23/sanctuaire-doiseau>

（イ）Kickstart 2023

ダンス・アーティスト Shion Skye Carter、ビジュアル・アーティスト Miya Turnbull による「Omote（面）」など、コンテンポラリー・ダンス公演が行われます。

日時：5 月 6 日（土）19 時、7 日（日）16 時、8 日（月）19 時、9 日（火）19 時

場所：Edifice Wilder

1435 Rue de Bleury, Montreal

<https://tangentedanse.ca/evenement/shion-skye-carter-miya-turnbull-ashvini-sundaram-yui-ugai-katherine-ng-joy-rider/>

(ウ) 嵐太鼓公演

Acces Asie フェスティバル閉会イベントで嵐太鼓が公演します。(無料)

日時：5月28日(日) 14時~17時

場所：Jardins Gamelin

1500 Rue Berri, Montreal

<https://accesasie.com/evenement/evenement-de-cloture-2023/>

●能舞台「NAE (苗) The Rice Seedling」(トロント)

トロント在住の草野スコット氏作の新作能舞台が上演されます。モンリオール地域から、安原嘉代氏、Elisabeth Caty氏、日本から、Robert Lepage氏の舞台にも出演している久高徹也氏が出演します。

日時：5月5日(金)~7日(日)

場所：Harbourfront Centre Theatre

231 Queens Quay West, Toronto, ON

<https://www.naeproject.ca/>

●Yatai MTL 主催：ジャパン・ウィーク

モンリオール市内の日本関連レストラン、ブティックなど、参加店を巡るイベントです。

日時：5月8日(月)~14日(日)

<https://www.yataimtl.com/>

●Katsura Sunshine RAKUGO en francais!

カナダ人落語家桂三輝によるフランス語落語公演です。

日時：5月9日(火)、10日(水)、11日(木)各19時

場所：Espace Libre

1945 Rue Fullum, Montreal, QC H2K 3N3

チケット：20ドル(税込)

<https://www.facebook.com/events/188325730205412/188402986864353>

●Festival de contes pour la jeunesse

市内各所にて、様々な年齢を対象にしたストーリーテリング、ワークショップ等が行われます。日系人のはなし家、Pascal Mitsuru Gueran氏による日本に関するお話しの回もあります。

期間：5月13日(土)~28日(日)

<http://festilou.com/festilou/>

●お花見ピクニック

参加には事前予約が必要となります。

日時：5月21日（日）11時半～15時半
場所：モントリオール市立植物園日本庭園
4101 rue Sherbrooke Est, Montreal
予約受付先（4月17日より）
<https://fondationdujardinjaponais.ca>

●0 Japanese Tea 主催：茶道デモンストレーション
日時：5月21日（日）、6月4日（日）、6月18日（日）12時、13時45分（各60分）
場所：Shab Studio
345 Rue De La Gauchetiere 0, Suite B, Montreal
<https://www.eventbrite.ca/e/billets-ceremonie-du-the-japonaise-japanese-tea-ceremony-538136469667?aff=JP>

●Next Music From Tokyo vol. 15
日本のインディーズバンドによるライブです。
日時：5月22日（月）開場19時、開演20時
場所：Petit Campus
57 Prince-Arthur Est, Montreal
<https://www.nextmusicfromtokyo.com/>

●Chant d'une clematite / Song of Clematis de Masako Miyazaki
宮崎雅子氏による写真が展示されています。（無料）
期間：5月7日（日）まで
場所：Parc Saint-Joseph
9909, 68e Avenue, Montreal
<https://montreal.ca/evenements/chant-dune-clematite-song-clematis-de-masako-miyazaki-28675>

●「JFF+ INDEPENDENT CINEMA」
国際交流基金が、日本各地のミニシアター支配人から推薦を受けた日本映画を無料ストリーミング配信しています。
期間：6月15日（木）まで
「アルプススタンドのはしの方」「戦慄せしめよ」「夜を走る」
「だってしょうがないじゃない」「距ててて」「夢は牛のお医者さん」

視聴方法等、詳細はこちらからご確認ください。
<https://jff.jp/watch/independent-cinema/film-lineup/>

●ランゲージ・エクステンジ（仏語－日本語）
ラヴァル大学院生が主催するオンライン・ランゲージ・エクステンジが、毎週土曜日朝8時（カナダ東部時間）から開催されています。
<https://www.meetup.com/en-AU/canasian-station/>
問い合わせ先：Pascal Paradis 氏（pascal.paradis.2@ulaval.ca）

●国際交流基金トロント日本文化センター

日本語教師向けにワークショップや情報交換会（オンライン）が随時開催されています。

<https://jftor.org/language/teachers/>

E-library で日本の本、マンガや雑誌などを読むことができます。

<https://jf.overdrive.com/>

その他、様々なオンライン・イベントが随時開催されています。詳細はこちらからご確認ください。

<https://jftor.org/>

6 当館管轄 5 州の政治

(1) ケベック (QC) 州

・3月3日、中国による連邦政治への介入の動きに関連し、州選挙管理委員会と州警察によると、過去に実施された州選挙では外国政府が介入した証拠は見つかっていない。

・3月8日、NDG・ウエストマウント選挙区選出のガルノー連邦議員は、政界引退を発表。

・3月9日、連邦警察 (RCMP) 国家安全保障担当チームは、モンリオールとブロッサール (Brossard, モンリオール南対岸) で中国の「警察署」と疑われる 2 拠点を捜査中。両拠点ともブロッサールの一市議が運営。

・3月11日、ケベック党 (PQ) 史上最悪の選挙結果から 6 ヶ月、同党大会で、サン＝ピエール・プラモンドン党首が 98.5% の信任票を獲得。

・3月13日、アングラード前州自由党党首の辞任にともなうサン＝アンリ＝サン＝タンヌ選挙区で実施された補欠選挙の結果、ケベック連帯 (QS) のクリシュ＝リヴァール氏が当選。1994 年の同選挙区設立以来初めて自由党が敗退。QS は州議会での議席数が 12 になる。

・3月13日、ラヴァル大学教員組合がストライキを開始。29日、ストライキが終結。

・3月20日、元ロングイユ市長、元ブロック・ケベコワ議員で、前回州総選挙で CAQ から出馬・落選したサン＝ティレル (Caroline St-Hilaire) 氏は、フランコフォニー国際機関 (OIF) のムシキワボ事務総長に次ぐナンバー2 の地位 (administratrice) に任命される。

・3月21日、ジラル州財務大臣は 2023 年度予算を発表。年間 17 億加ドルの減税を行う。赤字は 40 億加ドルに拡大。最も支出が多い部門は医療（前年比 7.7% 増の 590 億加ドル）、次いで教育（前年度比 6% 増の 200 億加ドル）。成長率は 2023 年 0.6%、2024 年 1.4% と予測。

・3月24日、非正規移民の流入が続いていたロクサム街道について、トルドー連邦首相がバイデン米大統領と閉鎖に合意した発表を受け、ルゴー州首相は、州にとって「大勝利」であると発言、トルドー首相に謝意を表明。

・3月29日、デュベ州保健大臣は、保健制度改革法案15を提出。308ページ、1000以上の条文を含む同法案には、保健省が医療サービスに関する複数の権限を移譲する新機関設立が含まれる。

(2) 大西洋諸州

・3月1日、連邦・QC州・ノバスコシア(NS)州に続き、プリンスエドワードアイランド(PEI)州でも全ての政府支給のモバイルデバイスでソーシャルメディアアプリ「TikTok」が禁止される。2日、ニューファンドランド・ラブラドール(NL)・ニューブランズウィック(NB)両州でも同措置施行。

(3) ニューファンドランド・ラブラドール(NL)州

・3月13日、ティモンズ・メモリアル大学学長は、一時休職を発表。自身がファーストネーション(先住民)出身であるとの同学長による過去の主張を疑問視する報道を受けてのもの。

・3月23日、コーディ州財務大臣は2023年度予算を発表。2022年は税收増と原油価格上昇等により7.8億加ドルの黒字で終わる見込み。2023年度は98億加ドルの歳出のうち、医療部門への支出は史上最高額の39億加ドル。1.6億加ドルの赤字となるも、2024年度に再び黒字となる見込み。

・3月28日、州新民主党(NDP)の党首選で、唯一の候補者であった現暫定党首のディン氏が正式に党首に選出。

(4) プリンスエドワードアイランド(PEI)州

・3月6日、キング州首相は、4月3日の州総選挙実施を発表、選挙戦開始。(＊4月3日、総選挙実施の結果、キング首相率いる進歩保守党(PC)が圧勝。)

・3月20日、PEI大学教職員を代表する組合がストライキに突入し、講義が中止となる。

(5) ノバスコシア(NS)州

・3月6日、州医師会は、米国で免許を取得した医師は追加認定試験なしで州で医師として活動できるようになったと発表。国内初の取り組み。

・3月7日、ヒューストン州首相は、ケープレトン大学(CBU)に2025年に新設予定の医学部開設支援のため5890万加ドルを支出すると発表。CBUは既に医学部を持つダルハウジー大学と共同で医師を養成する予定。

・3月16日、州看護師会は、カナダ他州、フィリピン、インド、ナイジェリア、米国等で免許を取得した看護師が最大数週間、州で看護師として活動できるようにすると発表。

・3月20日、州政府は、公立医療機関で働く看護師に最大2万加ドルのボーナスを支給すると発表。

・3月23日、マクマスター州財務大臣は2023年度予算を発表。2023年度は142億加ドルの歳入、144億加ドルの歳出のうち、医療部門への支出は45%にあたる65億加ドル。

医療システムのニーズに対応するため今後4年間は赤字を見込んでいるが、州人口が増えているので持続可能な支出であると説明。

・3月30日、22人が犠牲となった2020年4月のポータピック (Portapique) 銃乱射事件からほぼ3年、連邦・州政府による合同公開調査委員会 (MCC) は、事件現場近くの Truro で最終報告書を発表。3000ページにおよぶ報告書の中で委員会は、連邦警察 (RCMP) の説明・監督責任や訓練の改善、銃規制強化、警報システムの全国標準化等、抜本的な変革を提言。

(6) ニューブランズウィック (NB) 州

・3月21日、スティーヴス州財務大臣は2023年度予算を発表。2022年度は予算提出時の予測3500万加ドルを大きく上回り州史上最高の8.6億加ドルの黒字で終わる見込み。2023年度は歳入121.9億加ドル、歳出121.5億加ドル、4030万加ドルの黒字を予測。2023年度は、州人口増加に対応し住宅、医療、教育部門に重点を置いたものと説明。

・3月23日、ヒッグス州首相は、空席となっている3選挙区の補欠選挙を4月24日に実施すると発表。現在の議席数は進歩保守党29、自由党13、緑の党3、無所属1、空席3 (総議席数49)。

・3月29日、ヒッグス州首相は、州公用語法で現在定められている、同法の10年毎の見直し義務付け廃止を求める法案を州議会に提出。10年毎の見直しは、政府から任命された委員が公開協議を経て政府に提言を行うもの。野党は反対。

【各州世論調査結果 (未確定分は除く)】

(1) 州政党支持率

・QC州 (レジェ (Leger Marketing) 調べ、2月24~26日) : ケベック未来連合 (CAQ) 40%, ケベック党 (PQ) 18%, ケベック連帯 (QS) 17%, 自由党 (PLQ) 14%, ケベック保守党 (PCQ) 9%, その他 2%

・NL州 (ナラティブ・リサーチ (Narrative Research) 調べ (以下同じ)、2月7~21日) : 与党自由党 46%, 進歩保守党 (PC) 36%, 新民主党 (NDP) 17%, 緑の党 0%

・PEI州 (2月13~3月2日) : 与党 PC49%, 緑の党 22%, 自由党 19%, NDP9%, Island Party of PEI 1%, その他 0%

・NS州 (2月8~23日) : 与党 PC46%, 自由党 25%, NDP24%, 緑の党 4%, Atlantica0%, その他 0%

・NB州 (2月7~25日) : 与党 PC37%, 自由党 35%, 緑の党 17%, NDP9%, ピープルズ・アライアンス (PA) 2%, その他 1%

(2) 連邦政党支持率

・QC州 (レジェ (Leger Marketing) 調べ、2月24~26日 (以下同じ)) : 与党自由党 33%、ブロック・ケベコワ (BQ) 31%、保守党 15%、新民主党 (NDP) 13%、緑の党 5%、その他 2%

(3) ケベックの独立

- ・ QC 州：賛成 38%, 反対 62%

7 当館管轄 5 州の経済

(1) QC 州

・ 3 月 1 日、シンクタンク Conference Board of Canada の最新の予測によると、州の GDP 成長率は、2023 年は 0.2% と急激に鈍化した後 2024 年に 2.0% に達する見込み。

・ 3 月 7~13 日、ラモンターニュ州農業・漁業・食料大臣は、約 20 企業・団体からなる代表団を率いた貿易ミッションで初訪日。東京ではアジア最大の食品・飲料展示会 Foodex に参加し、愛知県では農業の自動・ロボット化、持続可能な農業や食料自給率について意見交換を実施。またアフリカ豚熱発生時に発生地域以外からの豚肉輸出を維持するための日本とカナダの間のゾーニング協定交渉を支持した。

・ 3 月 8 日、電動航空機製造の米ベータ・テクノロジーズ (Beta Technologies) は、モンクトリオールにエンジニアリング拠点開設を発表。ベータは、モンクトリオール地域で電動「空飛ぶタクシー」サービス提供可能性を検討中。

・ 3 月 8 日、スイスのスタートアップ H55 は、航空宇宙産業向けバッテリー製造工場をサン・テューベール (ロングイユ) に開設すると発表。H55 はプラット&ウイトニー・カナダ (P&WC) や CAE にバッテリーを供給予定。

・ 3 月 13 日、州政府は、モンクトリオールで開催された電気・スマート交通に関する「Impulsion 国際サミット」において、現在 1200 基ある急速充電ステーションのネットワークを 30% 拡充するため、6000 万加ドルを支出すると発表。

・ 3 月 15 日、ハイドロケベック (HQ) は、再生可能エネルギー 480MW と風力エネルギー 300MW の新規供給に関する入札実施の結果、7 プロジェクトを選定。1 件を除き全て風力発電で、2026 年 12 月までに合計 1303MW の追加電力が HQ 電力網に組み込まれることを目指す。

・ 3 月 16 日、コンビニ大手クッシュ=タール (Couche-Tard、本社ラヴァル) は、仏トタルエネルギー (TotalEnergies) がドイツ、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクに保有するガソリンスタンド 2200 店を 45 億加ドルで買収。クッシュ=タールは、既に 24 の国と地域で 14300 店以上を展開。

・ 3 月 27 日、カナダ・インフラストラクチャー銀行 (CIB) は、低炭素燃料への初の投資として、ヴァレンヌ (モンクトリオール南対岸) に建設されるバイオ燃料施設 Recyclage Carbone Varennes (RCV) に 2.77 億加ドルを支出。同施設は、Enerkem (本社モンクトリオール) とそのパートナー企業 (Shell, Suncor, Proman)、州政府による総額 12 億加ドルの共同プロジェクト。

・ 3 月 27 日、米自動車大手フォードは、ベカンクールにカソード (バッテリー素材) 工場建設準備を開始した旨報道された。韓国企業 2 社と共同で、投資規模は 10 億ドルとのこと。

・ 3 月 28 日、州養豚者組合 Eleveurs de porcs は臨時総会で、州内で飼育される豚を 100 万頭減らすため、少なくとも 5 年間生産を休止する養豚農家を対象とした買い戻しプログラム設立を承認。現在州内 1530 の養豚農家が 680 万頭の豚を飼育中。

・ 3 月 30 日、2021 年、鉱業ロイヤルティが過去最高額となる約 10 億加ドルの収入を州にもたらした。最もロイヤルティを多く支払った鉱山は順に Mont-Wright (鉄鉱石) 3.35

億加ドル、Lac-Bloom (鉄鉱石) 1.37 億加ドル、Canadian Malartic (金) 1.23 億加ドル。

・3月31日、連邦政府は、通信大手ロジャーズ (Rogers) によるショー (Shaw) の買収を遂に許可 (260 億加ドル)、またケベコー (Quebecor、ビデオトロン (Videotron) の親会社) によるショーの携帯電話事業フリーダムモバイル取得を許可 (28.5 億加ドル)。これによりビデオトロンは国内第4の携帯キャリアとなり、カナダ全国進出を達成。

(2) 大西洋諸州

・3月1日、シンクタンク Conference Board of Canada の最新の予測によると、2023年の大西洋州のGDP成長率は、NL 2.2%、PEI 0.9%、NS 0.3%、NB 0.1%と緩やかになる見込み。

・3月22日、マグロー克蘭前 PEI 州首相、マクニール元 NS 州首相を含め 17 人の大西洋州首相・副首相経験者が署名し、オタワのシンクタンク Public Policy Forum が発表した報告書によると、大西洋州経済は現在歴史的な活況を呈している。2015~2022年、経済、人口成長、教育レベル、移民、年齢、雇用率等のパフォーマンスは全国平均並みとなり、それ以前 (2008~2015年) に比べ大きく改善した。

・3月28日、連邦政府は2023年度予算を発表。国内のグリーン電力インフラ支援のために CIB に割り当てられた 200 億加ドルは、大西洋州をつなぐクリーンエネルギー網「アトランティックループ」プロジェクトも対象となる。

(3) NL 州

・3月24日、セント・ジョンズ空港ターミナルビルは火災で閉鎖され、旅客便が欠航となる。26日夜に運航が再開。

(4) PEI 州

・3月17日、ウエストジェットは今夏、シャーロットタウン・トロント便を再開しないと発表。子会社の超格安航空 Swoop がトロントとハミルトン行きフライトを運航するとのこと。

(5) NS 州

・3月6日、沿海州の3商業漁業者は、連邦漁業省が2022年にウナギ稚魚の漁業権の一部を先住民に付与するために商業漁業者の割当分を補償なしに削減したのは不当であるとして、連邦裁判所に異議申し立てを行った。ウナギの稚魚は春に NS・NB 州の川で獲られアジアに出荷される。2022年は1キロ当たり5000加ドルで取り引きされた。

・3月14日、州・連邦政府とミシュランは、同社社屋拡張と近代化のため3億加ドルを支出すると発表。電気自動車向けのタイヤを生産する。

・3月27日、ピアリダイ・エナジー (Pieridae Energy、本社カルガリー) は、カナダ西部から運んだ天然ガスをゴールドボロ (Goldboro、州東岸) で液化して欧州に輸出する計画を断念。同計画を実現するには他州を横断するパイプラインの建設・改良が必要であった。同社 CEO は、規模を縮小してプロジェクトを継続することが可能かどうかは、NB 州が水圧破碎のモラトリウムを解除 (シェールガス開発を再開) するかにかかっていると発言。

(6) NB 州

・3月8日、ウエストジェットは、モンクトン・トロント便の運航を4月30日で停止すると発表。

・3月13日、超格安航空リンクスエアは、フレデリクトン・トロント・カルガリーを結ぶ便を6月に就航すると発表。

・3月16日、スペインのエネルギー企業レプソル (Repsol) は、カナダ西部から運んだ天然ガスをセントジョンに所有する LNG 施設から欧州に輸出するための拡張計画は、コストの問題で実現不可能であるとして断念すると発表。

・3月29日、ヒッグス州首相は、州エネルギー公社 NB パワーが所有するポワンプルロー原子力発電所（州南部）の一部売却の可能性について、ON 州のエネルギー公社 OPG と協議中である旨発言。ポワンプルロー原発は、唯一の原子炉 CANDU-6 (1982 年運転開始) が 2022 年 6 月に 10 年間の運転期間延長が許可されたが、度重なる故障とコスト超過により 50 億加ドル超の負債を抱えている。OPG は ON 州に 3 つある原発のうち 2 つを運営している。

[在モンリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから、当館に在留届を提出されている方と、当館メールマガジン読者登録をされている方に向けて送信されています。本メールあてに直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。

emagazine@mt.mofa.go.jp

○メールマガジン読者登録をされている方で、配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、emagazine@mt.mofa.go.jp までご連絡ください。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モンリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○メールマガジンのバックナンバーは、以下の URL をクリックすると閲覧いただけます。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（www.kantei.go.jp）

外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/）

在カナダ日本国大使館ホームページ（www.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館ホームページ（https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館 Facebook (www.facebook.com/JapanConsMontreal)

当館 Twitter : @JaponMontreal <https://twitter.com/JaponMontreal>

○発行：在モンリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333, Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当
(emagazine@mt.mofa.go.jp) までご相談ください。

■-----■